

阪神・淡路大震災後 20 年 災害医療シンポジウム
大震災時の経験とその後の課題

1995 年に阪神・淡路大震災が起こり、本邦の災害医療が始まったといっても過言ではない。20 年を経て、その間東日本大震災をはじめとする数々の災害にみまわれ、災害拠点病院の設置や DMAT などいくつかの対策も取られてきた。しかし、災害は千差万別であり、常に想定外であることを考えておかなければならない。

災害医療にとって元年であった阪神・淡路大震災をもう一度振り返り、この 20 年間で教訓が生かされてきた過程を検証することによって、今後起こり得る大災害対策の展望を考察する。

日時：平成 27 年 2 月 21 日(土) 12 時開場

場所：兵庫医科大学平成記念会館

〒663-8124 兵庫県西宮市小松南町 2-6

TEL:0798 (41) 7030 阪神電鉄・武庫川駅下車、西出口より徒歩 3 分

主催：学校法人 兵庫医科大学、兵庫医科大学 救急・災害医学講座

共催：神戸大学医学部附属病院救急部、兵庫県医師会

後援(申請中)：兵庫県、西宮市、朝日新聞社、毎日新聞社、産経新聞社、日本経済新聞社、読売新聞社、神戸新聞

対象：近畿一円の防災行政、研究・教育機関、医療機関、災害関係機関、その他

12:30 総合司会 兵庫医科大学 救急・災害医学講座 臨床准教授 中尾 博之

12:40 開会のあいさつ 兵庫医科大学 理事長 新家 莊平

12:50 第 1 部基調講演：座長 兵庫医科大学救急・災害医学講座 講師 久保山 一敏

1. 兵庫医科大学 副理事長 太城 力良

2. 兵庫医科大学 救急・災害医学講座 主任教授 小谷 穰治

3. 陸上自衛隊 第 3 師団第 36 普通科連隊隊長 1 等陸佐 近藤 力也

14:00 小休憩

14:10 第 2 部シンポジウム：「災害医療事例の教訓を想定外大災害へ応用させる方法」

座長 神戸大学 災害・救急医学講座 特命教授 西山 隆

兵庫医科大学 救急・災害医学講座 臨床准教授 中尾 博之

◇ 内閣府 政策統括官(防災担当)付企画官(災害緊急事態対処担当) 藤條 聡

◇ 文科省 医学教育課大学病院支援室室長 手島 英雄

◇ 厚労省 医政局地域医療計画課救急・周産期医療等対策室長 西嶋 康浩

◇ 総務省 消防庁救急企画室 救急専門官 寺谷 俊康

◇ 東京大学 総合防災情報研究センター センター長 田中 淳

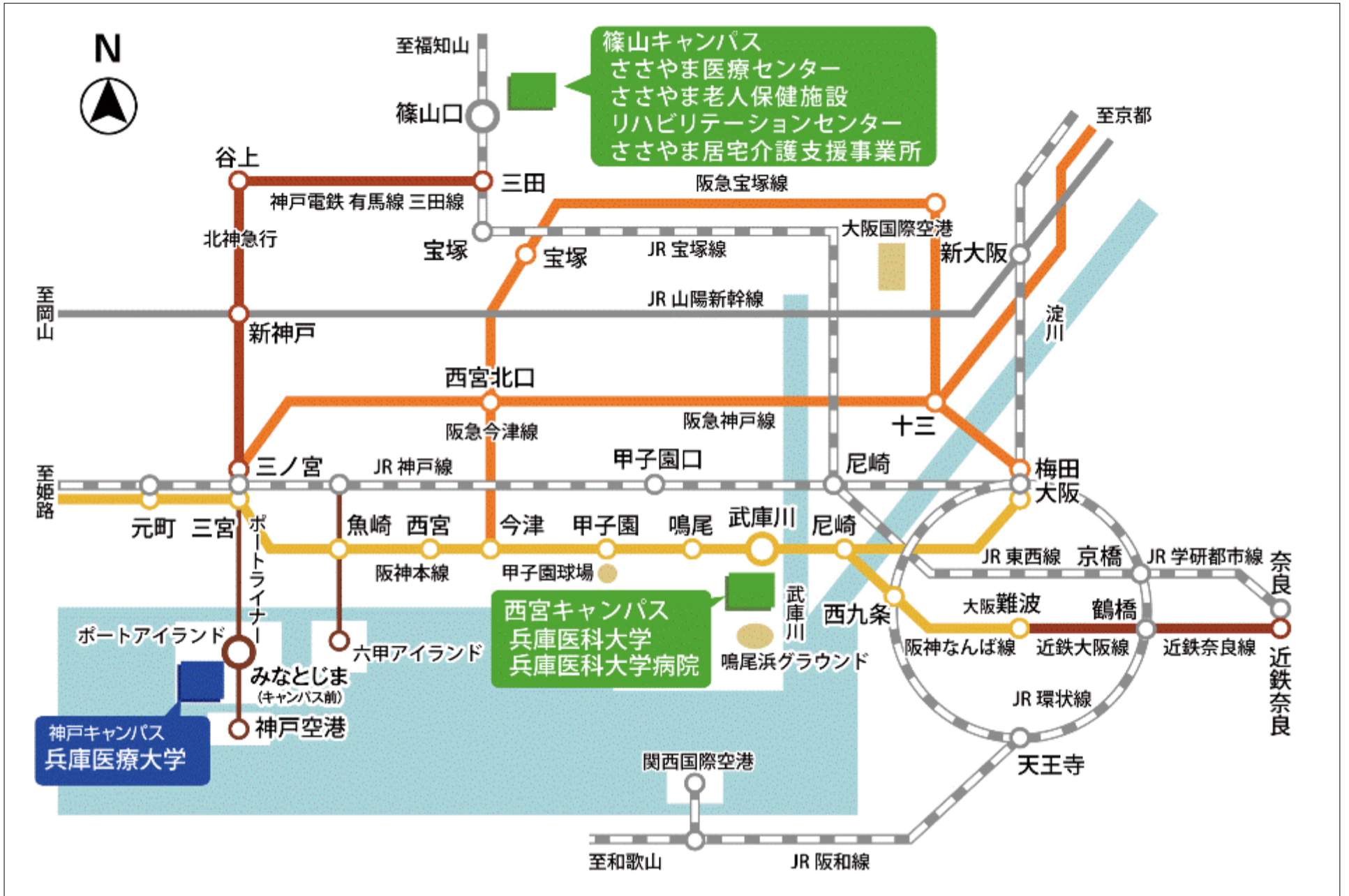
◇ 神戸赤十字病院 院長 小澤 修一

◇ 兵庫県医師会 会長 川島 龍一

16:30 閉会のあいさつ 兵庫医科大学 学長 中西 憲司

問い合わせ先：兵庫医科大学 病院事務部管理課 0798-45-6611

兵庫医科大学 平成記念会館へのアクセス



- ◆ 阪神電鉄・武庫川駅下車、西出口より徒歩3分
- ◆ 阪神電鉄・甲子園駅下車、タクシーで約5分
- ◆ JR 甲子園口駅下車、タクシーで約10分



阪神電鉄「武庫川駅」西出口より、阪神本線沿いに約150mお進みください。
 阪神電鉄・阪神本線の高架下を通過していただき、直ぐのところのところに平成記念会館がございますので、会館正面入口よりお入りください。



阪神・淡路大震災後 20 年

災害医療シンポジウム

～大震災時の経験とその後の課題～

主催：学校法人 兵庫医科大学、兵庫医科大学 救急・災害医学講座
共催：神戸大学医学部附属病院 救急部、兵庫県医師会

日時

2015年 2月 21日(土)
12:30 ~ 16:30 (12:00 開場)

会場

兵庫医科大学
平成記念会館
(詳しくは裏面をご覧ください)

プログラム

第1部 基調講演

座長：兵庫医科大学 救急・災害医学講座 講師 久保山 一敏
演者：兵庫医科大学 副理事長 太城 力良
兵庫医科大学 救急・災害医学講座 主任教授 小谷 穰治
陸上自衛隊第3師団 第36普通科連隊隊長 1等陸佐 近藤 力也

参加費
無料

第2部 シンポジウム

「災害医療事例の教訓を想定外大災害へ応用させる方法」

座長：神戸大学 災害・救急医学講座 特命教授 西山 隆
兵庫医科大学 救急・災害医学講座 臨床准教授 中尾 博之
シゴスト：内閣官房災害緊急事態対処室 政策統括官付企画官 藤條 聡
文部科学省高等教育局 医学教育課大学病院支援室 室長 手島 英雄
厚生労働省医政局地域医療計画課 救急・周産期医療等対策室 室長 西嶋 康浩
総務省消防庁救急企画室 救急専門官 寺谷 俊康
東京大学総合防災情報研究センター センター長 田中 敦
神戸赤十字病院 院長 小澤 修一
兵庫県医師会 会長 川島 龍一



学校法人 兵庫医科大学

兵庫医科大学

